

良い子にならなきゃ！



東郷 潤

悪い子は、地獄へ落とされ
ちゃう。

…あなたは、そんなことを、
聞いたことが有るかしら？



悪い子は、地獄で火あぶりにされちゃうんだって。

どんなに泣いたって、叫んだって、だれも助けに来てはくれません。

熱いよ～、痛いよ～！



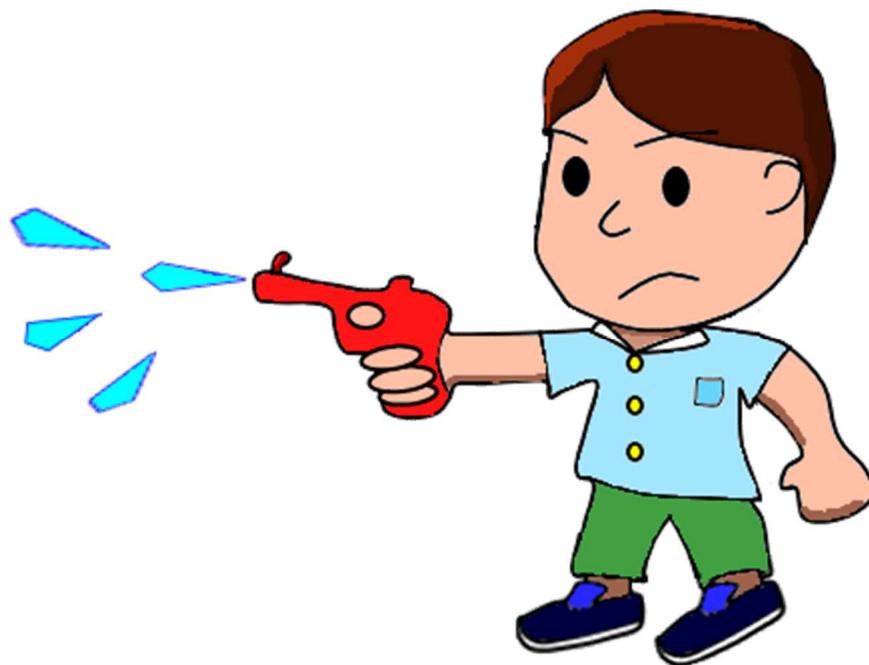
こんなこと、想像するだけで、体がブルブル震えちゃうよね。

あなたは地獄へ落ちたい？

もちろん、嫌だよね！

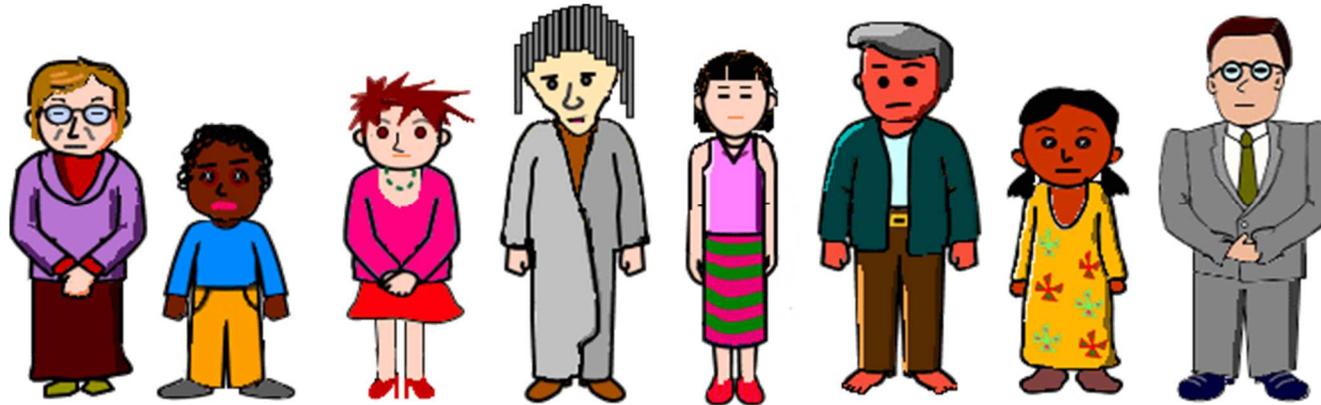
だったら、良い子にならなきゃいけないよ。

それでね、良い子になりたかったらね、良い人と悪い人をちゃんと分けないといけないんだよ。 そうしなきゃ、良い人の味方になることも、悪い人と戦うことも出来ないからね。



さあそれじゃ、みんなを良い人と悪い人に分けてみようね。

どの人が良い人？ どの人が悪い人？



え？ 分からない？

…う～～ん、困ったね。そんなんじゃ、絶対、良い子になんかなれないよ。
もし良い子になれなかったら、地獄で火あぶりにされちゃうかも知れないのに！



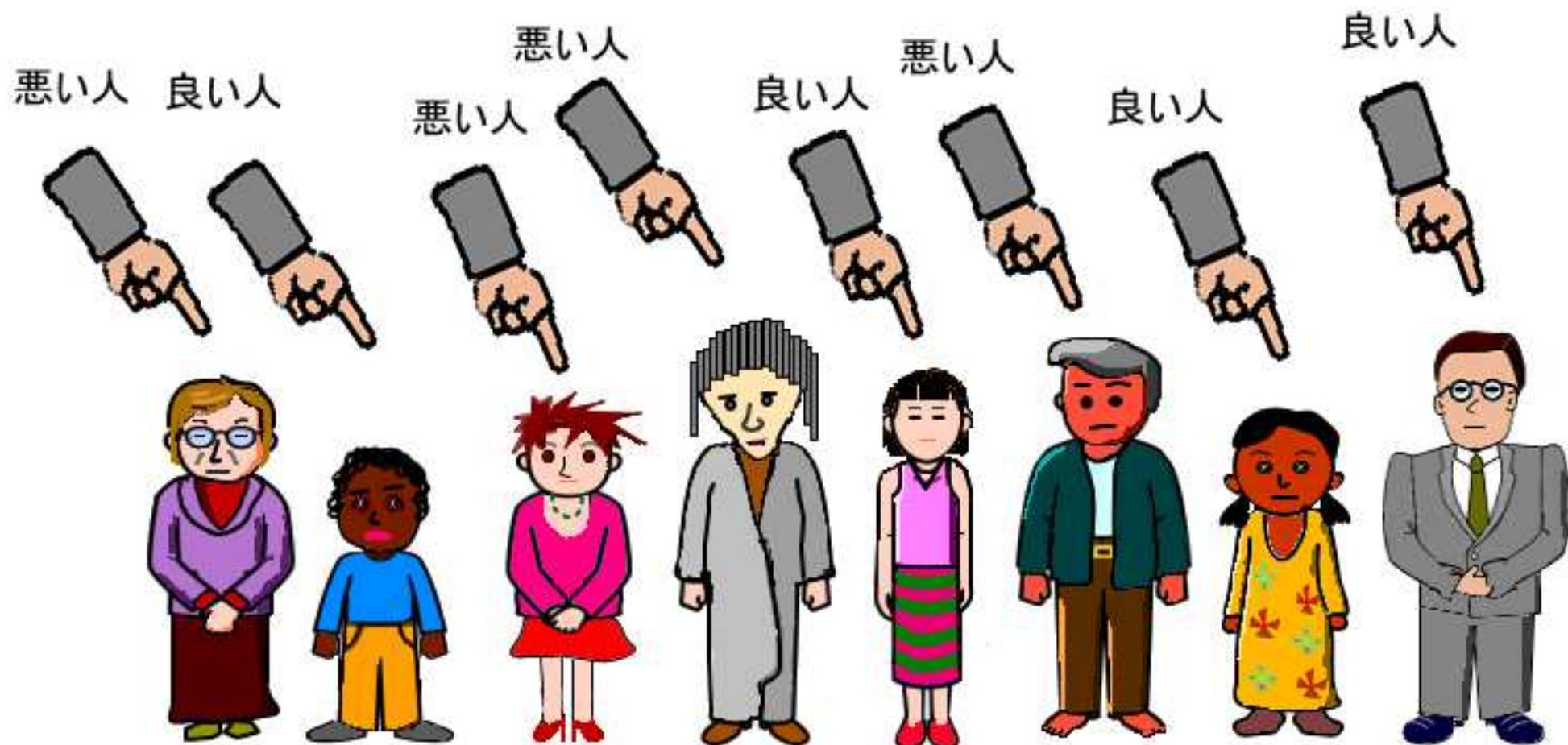
あ、そうだ、こうしよう！



誰か偉い人に、良い人と悪い人を教えて貰おう！ 偉い人は何でも知っているんだから！



さあ、決めてもらったよ！



それじゃ良いと決まった人たちに、「君たちは、良い人です」って教えてあげようか。



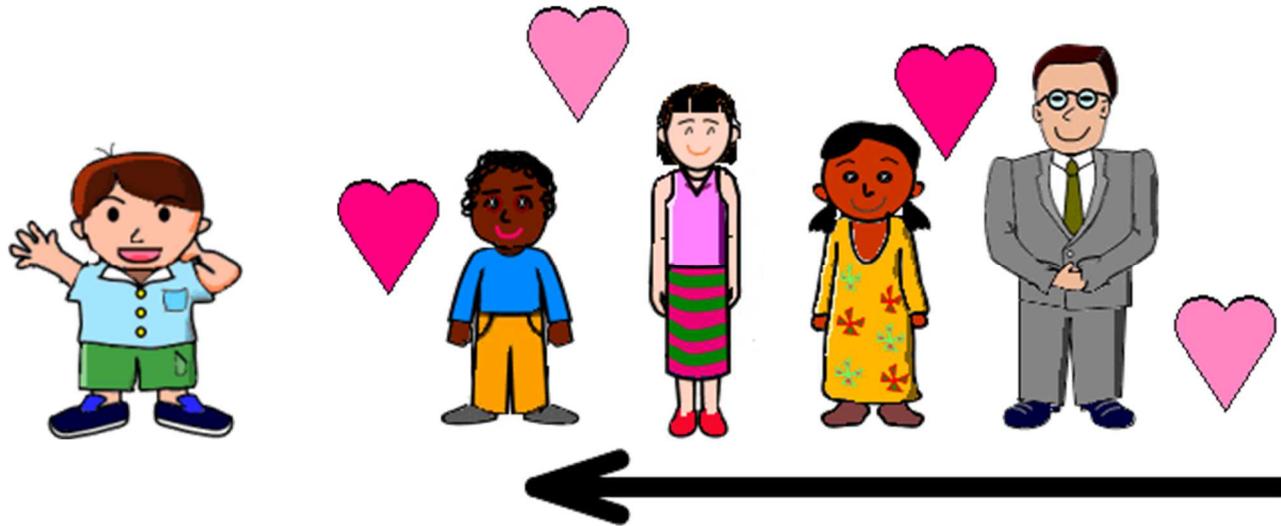
君と君と君は、良い人です

見てごらん。

「良い人」って、言われた人は、みんなにっこりしているよ。すっごく嬉しそうだね。

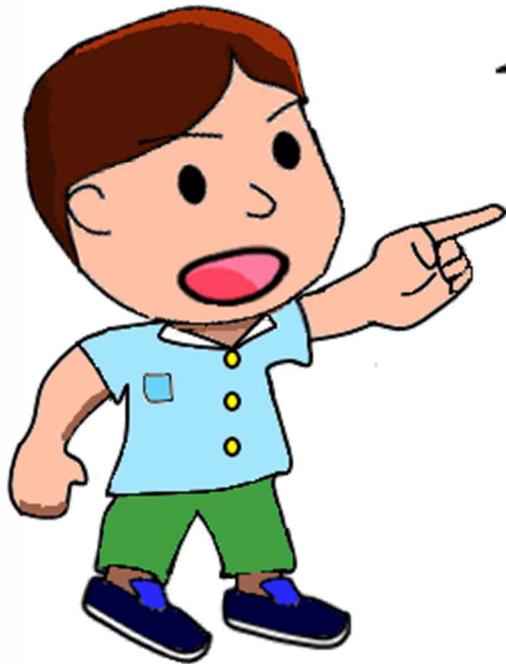


うわあ！ 良い人は、みんなあなたの側に来たね。あなたのこと、大好きだって。
良い人と仲良しさんできて、良かったね！



それじゃ、次は、悪い人の番。

悪いと決まった人たちにも、親切に教えてあげようか。



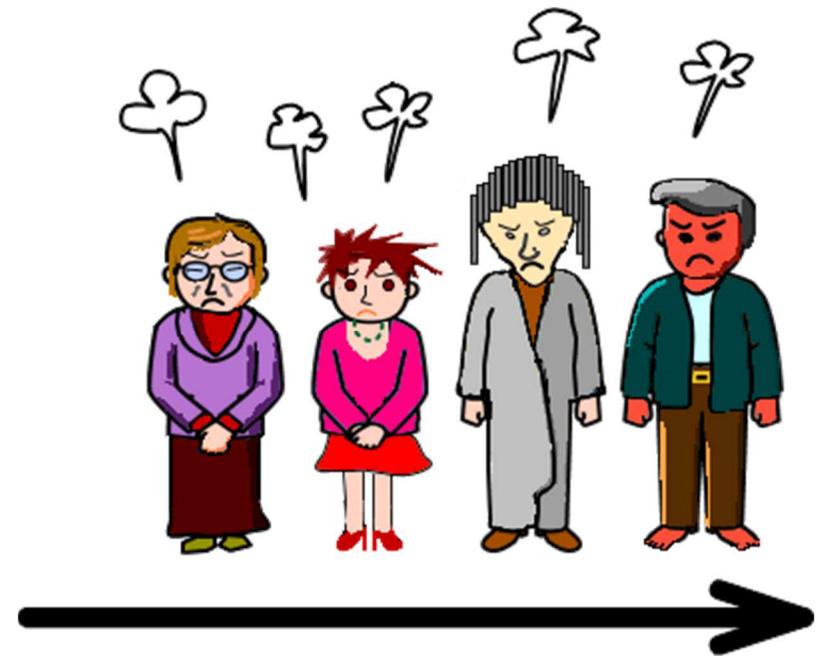
君と君と君は、悪い人です

あれれれれ？ みんな怒っちゃったよ！



あれえ？ みんな、あっちに行っちゃったよ！

せっかく、親切に、正直に、率直に、教えてあげたのに！ なんていうやつらだろ！



みんな2つに分かれちゃったね。

こっち



あっち





君たちは
悪いんだよ

親切に教え
てあげよう

ひどい！ 悪い人は
地獄に落とされちゃ
うのに。こんなこと
を言うのは悪い人だ
けだね。



あなたたちの方が
が悪いんだよ

ひどい！ 悪い人は地獄に
落とされちゃうのに。悪い
人は、口で言っても分から
ないね！

親切に教え
てあげよう

パンチ!



僕たちは正義の味方
だから、悪と戦うぞ!

うわあ、殴るなんて、
なんて悪い人たち
だろう!

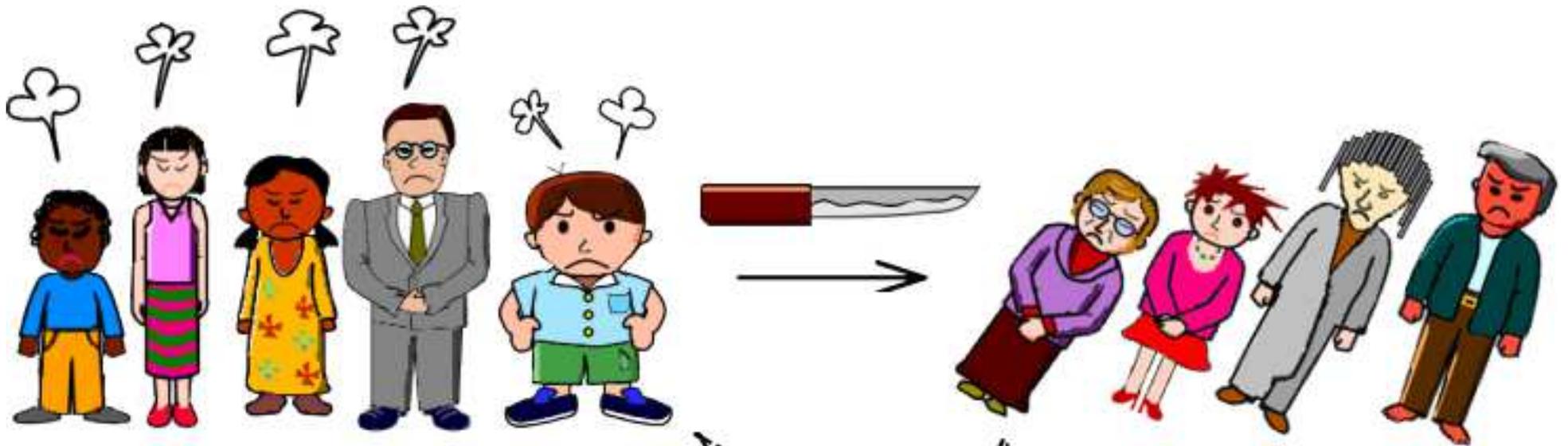
僕たちは正義の味方だ
から、悪と戦うぞ!

パンチ!



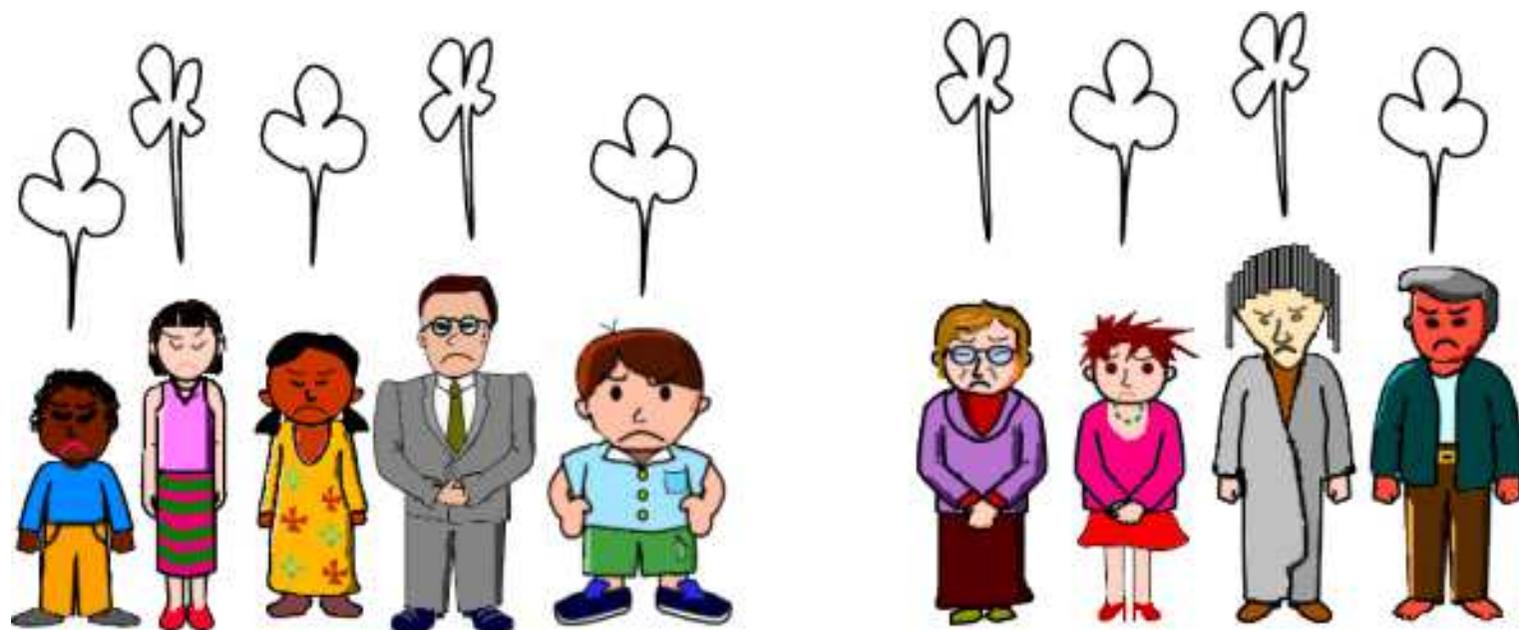
うわあ、殴り返して来たよ。
なんて悪い人たちだろう！
仕方がない。次はナイフだ！

悪人め、
思い知れ！

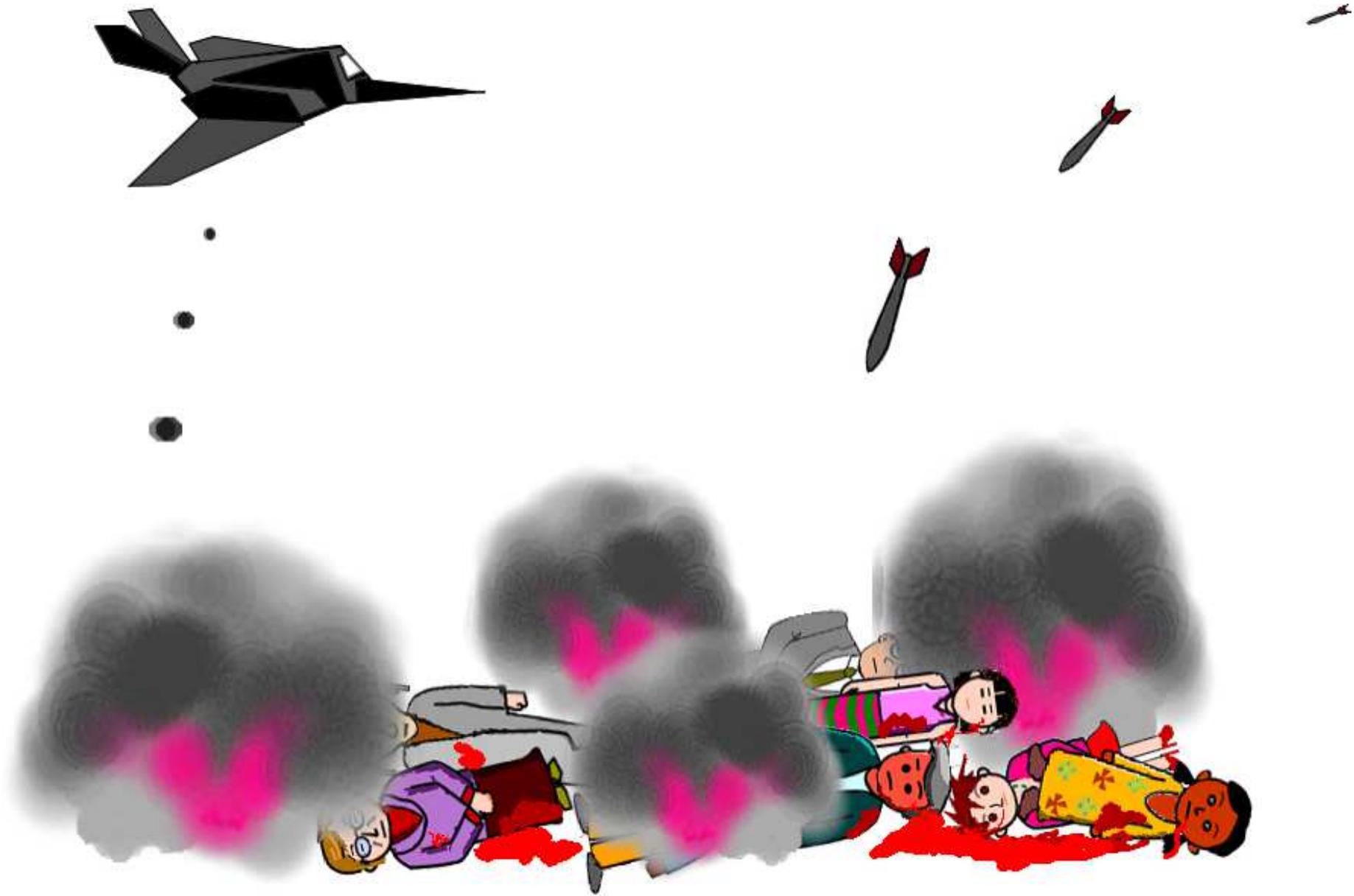


悪人め、
思い知れ！

うわあ、なんて悪い
人たちだろう？
正義の為に命をかけて
戦うぞ！



次は、爆撃だ！ ミサイル攻撃だ！
悪になんか負けるものか！
正義が勝つんだ！



あれれ・・・、
みんな死んじゃったよ。

良い人と悪い人に分けると、

それだけで、

人と人は戦い合うみたいだね。

もし、みんながこのことに気づいたら、世界中の人達、きっともっと仲良しさんできるね。

そしたら、とっても嬉しいね！



あとがき —絵本「良い子にならなきゃ」

絵本「良い子にならなきゃ」は、恐怖という感情が善悪の錯覚と一緒にあって戦争・虐殺といった争いを生む、その心理の流れをテーマとしています。

善悪という考え方を巡っては、本当に多くの錯覚が存在しています。そしてそれらの錯覚は、恐怖への信仰と有機的に結合して、様々な悲劇を育む土壌となり、結果的に、億単位の人々が犠牲になっているのです（詳細は、弊著「善悪中毒」なり下記WEB絵本集をご参照ください）。

そうした悲劇を地球上から少しでも減らすことを目的に、善悪を巡る錯覚の一つをテーマとして本絵本「良い子にならなきゃ」を執筆しました。本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2004